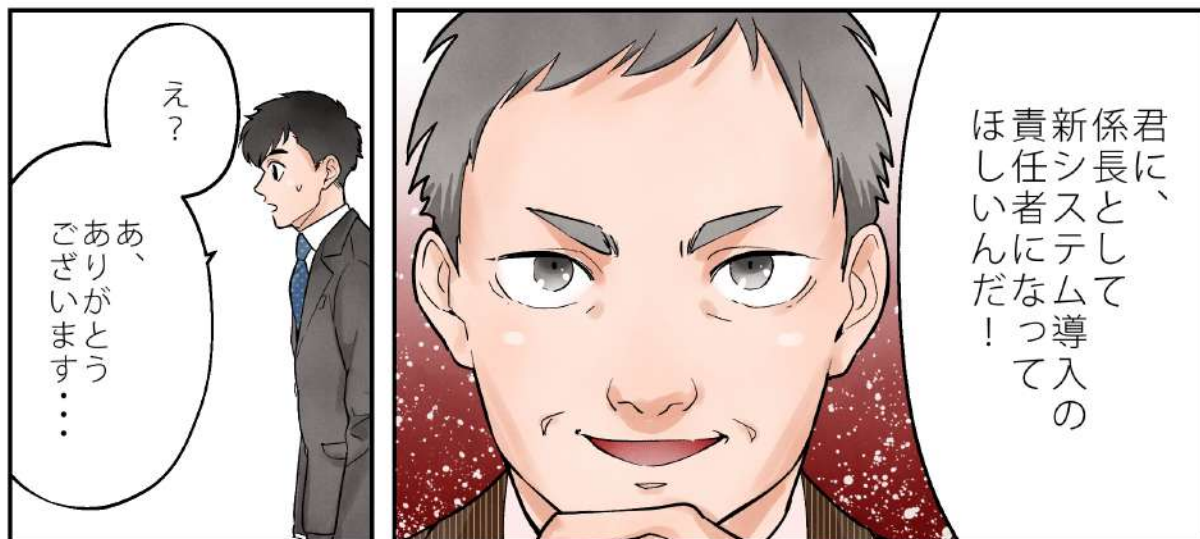
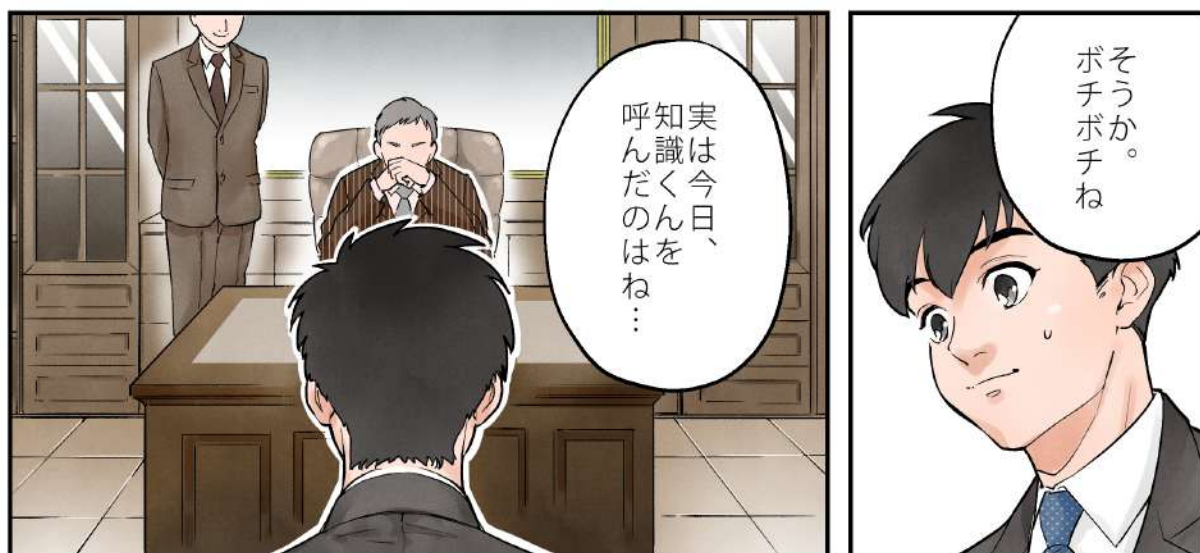
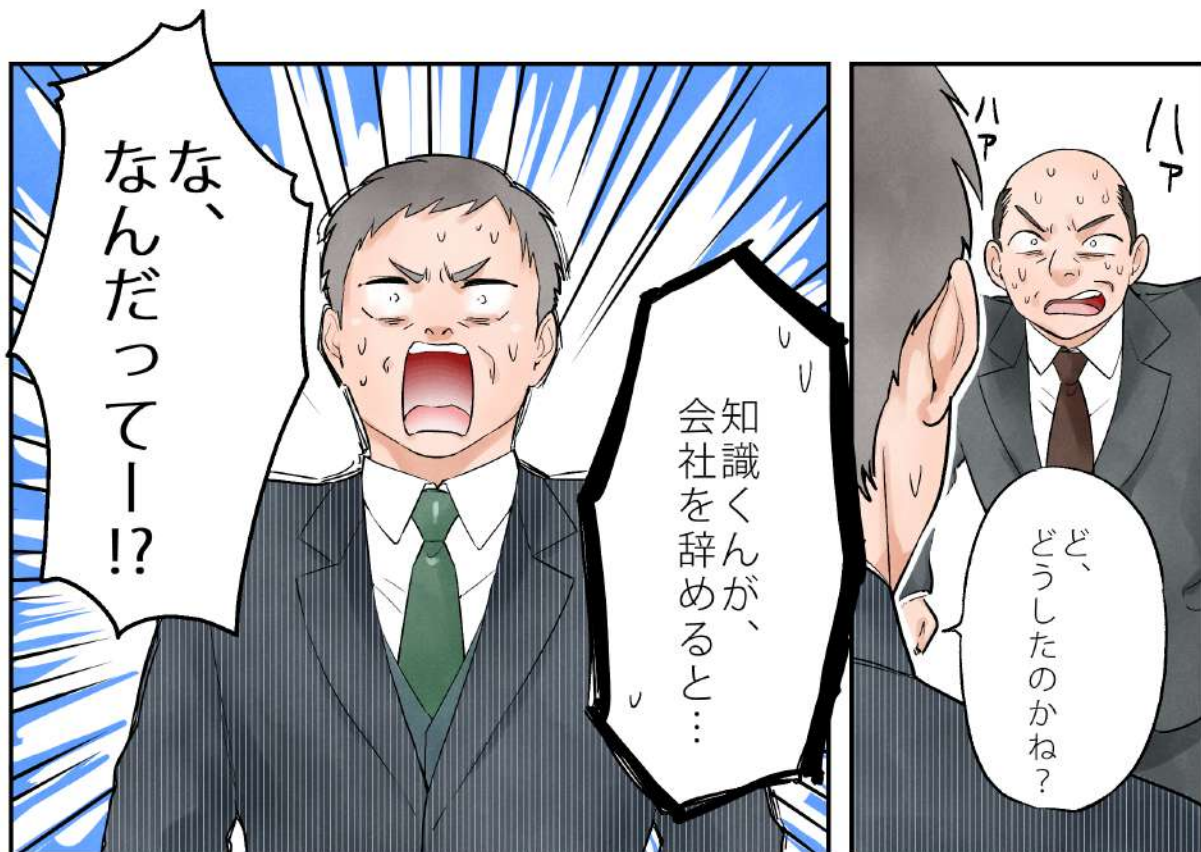
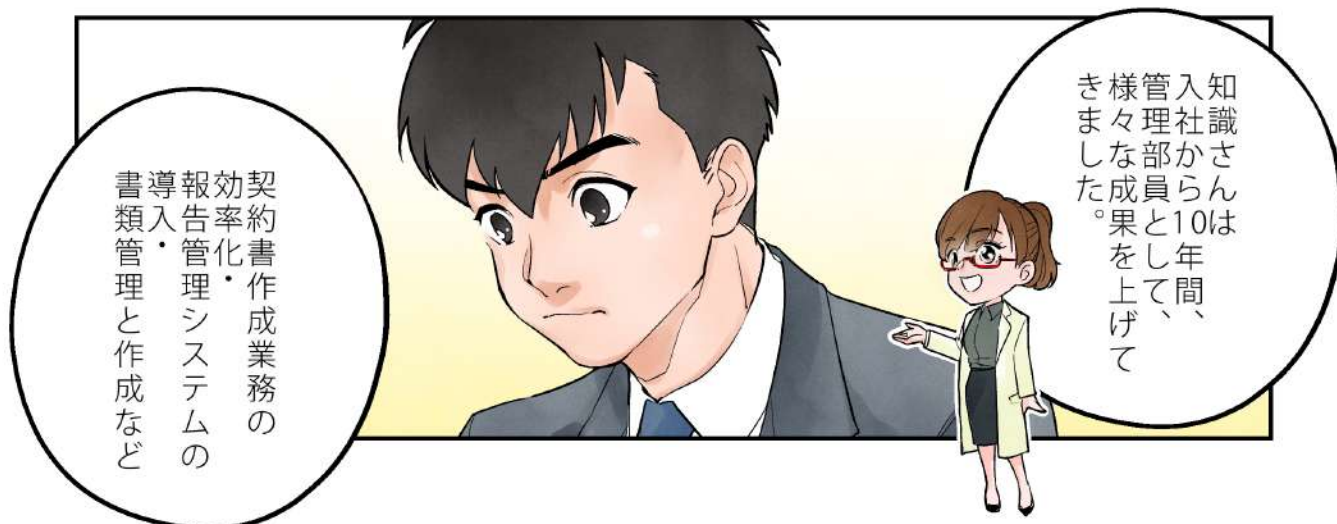












知識さんは、
これらがいずれ
評価され、
自分の昇進に繋がる
と信じていました。

周りには、
そう信じられない
社員も多く、

彼らは入社から
4年が経つ頃に、
徐々にそれに気づき
はじめます

結果、
会社で成果を上げた
人物は、その実績を
武器に転職活動を行
うようになります。

逆に、
成果が上げられない社員は
『居続けるだけで
昇進できる会社』に
残ろうとします

知識さんは、
そのように、
早々に転職した
方々よりも、
長く勤め、

自らの成果を
評されたと信じて
いました。が、

先日、
ボロボロの成績で
あるにも関わらず
昇進の話まで
されたことで

『この会社では
成果を上げても意味が
ない』と、思ってしまった
そうです。

そうだった
のか。

私は
『シビアに目標を
追わせ、
結果だけで
評価する』ことは、
社員のストレスに
なると思い
込んでいた

しかし、
この考えこそが
『社員を悩ませ』
『会社の成果』を
落としていたん
だな。

